



## 全国高等学校サッカー選手権大会で ベスト3に貢献

小澤 亮祐さん（佐間・18歳）

高校サッカー部の頂点を決める全国高等学校サッカー選手権大会。その第95回大会に栃木県代表の佐野日本大学高等学校のメンバーとして出場し、見事ベスト3という輝かしい成績を収めた小澤亮祐さんを紹介します。

小澤さんは小学1年生の時、地元のサッカースポーツ少年団「行田サウスフェニックス」に入団。仲間とボールを追いかけて、蹴ったりすることが楽しくて一気にサッカーに夢中になっていきました。その後、中学、高校へ進学してもその情熱は変わらず、放課後のチーム練習が終わった後も毎日遅くまで自主練習に励みました。チーム内でも確かな実力をつけていった小澤さんですが、高校3年生の6月の関東高校サッカー大会を前にして右足のすねにけがを負い、レギュラーメンバーを外れる



ことに。「試合に出られない悔しさを味わいました。しかし、ピッチの外から応援する中で、これまで仲間たちが同じ悔しさを抱えながら自分を応援してくれていたことを実感し、感謝の気持ちが強くなりました」と振り返ります。

昨年度の第95回全国高等学校サッカー選手権大会栃木大会で優勝を果たし、舞台は全国大会へと移りました。シュートを打った際に歓声が鳴り響くスタジアム。全国大会の独特な雰囲気、圧倒的な存在感、初戦は緊張して思うように足が動かなかったそうですが、2回戦以降は的確なパスを出したり、PK戦で確実にゴールを決めたりするなど、チームの勝利に貢献しました。「残念ながら準決勝の試合で負けてしまいましたが、いつもどおりのプレーができ、力を出し切れたので後悔はありません」とすがすがしい表情を見せます。

春からは大学進学が決まっているという小澤さんは「大学でもサッカーは続けますが、体育の先生になるために教員免許を取得したい。自分を人間的にも成長させてくれたサッカーの経験を生かして、子供たちにあいさつや礼儀など、人として大切なことを伝えたい」と語ります。華麗なプレーで多くの高校サッカーファンを沸かせたサッカー少年は、次の目標に向かって新たなフィールドに駆け出しました。

## はじめまして

★★★ 平成28年 3月生まれ のおともだち ★★★

### 平成28年5月生まれのお子さんを募集します

○3月1日㈪～31日㈪に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)  
※応募要領は市ホームページをご覧ください。  
○応募者多数の場合は、4月3日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



**為ヶ井 一翔ちゃん** (埼玉)  
平成28年3月8日生まれ  
父・大祐さん 母・奈美さん  
「お姉と仲良く  
元気に育ってね☆」



**秋池 涼那ちゃん** (栄町)  
平成28年3月7日生まれ  
父・怜さん 母・佳菜さん  
「涼那のおかげで毎日幸せ♡」



**大石 結椰ちゃん** (栄町)  
平成28年3月7日生まれ  
父・正人さん 母・江里子さん  
「いつも素敵な  
笑顔でいてね♡」



**田代 明末ちゃん** (谷郷)  
平成28年3月24日生まれ  
父・直也さん 母・綾子さん  
「やっぱりかわいいが  
止まらない」



**丸山 茜ちゃん** (向町)  
平成28年3月9日生まれ  
父・靖雄さん 母・祐子さん  
「我が家のスマイル天使♡」



**香山 弥紗ちゃん** (旭町)  
平成28年3月7日生まれ  
父・翔さん 母・英美子さん  
「たくさん思い出つくりたいね」

## ぎょうだの会社を クローズアップ!!

## 有限会社中屋酒店

独自の取り組みで伝える酒の魅力



### 会社プロフィール

代表取締役 **半田 武久**  
【事業内容】 酒小売業  
【住所】 富士見町2-35-5

昭和4年に創業した有限会社中屋酒店は、清酒、本格焼酎、和リキールなど全国の地酒を中心に取り扱う酒専門店です。  
店内には約300銘柄が並び、中でも蔵元と直接契約を結ぶ特約店制度によって、量販店や近隣の小売店には流通していない地酒を数多くそろえています。店長の半田昌大さんは「蔵元がこだわりの込めて造ったお酒の魅力を伝えるために取引の際には必ず酒蔵を訪ねています。製造の現場はもうろん、訪れた地の酒屋や飲食店も訪ね、お酒が一番引き立つ飲み方を教えて、お客さまに伝えていきます」と話してくれました。販売の際には、酒の特徴や飲むのに適した温度帯、相性の良い料理などおいしく味わうためのアドバイスをしています。そんな真摯な姿勢が認められ、蔵元からは特約店の中でも数店しか扱えない限定酒を任されるまでになり、半田さんの厳選した酒を求めて県外からも客が来店するなど厚い信頼を得ています。

また、より多くの人に地酒に親しんでもらうための普及活動にも力を入れています。その一環として、蔵元を招いた「酒の会」を地元飲食店で開催。参加者に数種類の酒とそれらに合わせた料理を楽しんでもらいながら、飲んだことのない銘柄に出会うきっかけづくりをしています。他にも料理研究家と組んで料理と酒の新しい組み合わせを提案したり、初心者でも安心して手にとれるよう店内の商品一本一本に手書きの説明を添えたりとさまざまな工夫を凝らしています。  
今後について半田さんは「これからも厳選した魅力ある品をそろえを充実させていきたい。そして、地元に住むお酒を嗜まない人にも興味をもってもらえるような新たな機会を提案していきたいです」と力強く話してくれました。一杯の酒に込められた造り手の思いを届けるために、これからも同社の奮闘は続きます。

## 私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。  
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で  
広報広聴課へご応募ください。

### 俳句

富士見町	おおば水杜
子産むは女のいくさ鑑餅	
本丸	中村 宣子
ゴッホの黄ユトリロの白風光る	
荒木	小林 康男
声明に目覚む太子や梅真白	
須加	天沼 広吉
漢方に頼る他なし老いの冬	
南河原	今村 文女
晩学の辞書とルーペと冬日向	
矢場	高田みつ子
菰巻の張り枝太き男松	
棚田町	春田 枕流
ちらちらと雪ちらちらと虚空より	
荒木	手島 一海
摘むにはちと早過ぎる路の臺	
長野	石川 順一
初詣神もおどろく電子マネー	
荒木	藤田 栄之
渡船場の幟ゆか春の風	
谷郷	山内ふく子
土手沿いに命あふれる水仙花	
荒木	藤田 明枝
木の芽晴子を抱く地蔵おろがみぬ	
須加	須加かつ江
筆運ぶ三感四温感じつつ	
持田	伊藤 洋子
空屋にも人の声ありお元日	
谷郷	馬場 勇
大寒を吹き飛ばしたる稀勢の里	
富士見町	鈴木スイ子
喪心には、笑みかける初日かな	
富士見町	森 節子
枝先にぼつと一輪梅の花	
持田	二瓶 弘子
離れ住む子の方角を慮方とす	
荒木	森田 静
風風ぎて梅の香つゝむ野の小路	
持田	小倉 繁三
寒空や雀卓の顔みな優し	
(三沢 一水 監修)	